



「新しい年の始まりに」

校長 白井 貴

新年あけましておめでとうございます。

今年は「辰年（たつどし）」。去年は卯年（うどし）。ウサギが主役でしたが、今年は龍（りゅう）が主役です。

龍は、十二支の中で唯一実在しない想像上の動物ですが、ご存じのとおり、英語では、ドラゴン(Dragon)ということで、テレビゲームやアニメなどにもよく登場します。そういった意味では、私たちになじみのある動物と言えるかもしれません。

東洋では、龍は大変尊い存在として捉えられており、中国では、黄河の上流にある「龍門」と呼ばれる急流を登り切った鯉は龍になるという伝説があり、そこから出世や開花するための関門のことを「登龍門（とうりゅうもん）」と呼ぶようになったそうです。日本でも、恵みの雨をもたらす「龍神様」として尊ばれるなど、龍は「神」と同じ部類だという認識があると感じます。

辰年は、成長や発展の年と言われます。「辰」という字は、「ととのう」や「ふるう」という意味があり、今までの努力や忍耐が整い、具体的な形になっていくことに適した年です。万物が相整い発展する様を天に昇る龍に例えたのではないとも言われています。雲の中を天に昇る龍のように、生徒の皆さんの勢いある成長を期待しています。

さて、去年は学校だよりでもお伝えしましたとおり、ちしろまつりを始め、予定どおり各種行事を実施できております。保護者の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。今年度残りの3か月につきましては、今年度のまとめと次年度の準備を意識して、進めていきたいと考えております。

特に高等部3年生は、卒業が近付き、いよいよ社会へ飛び立つこととなります。残り少ない学校生活の1日1日を大切に、そして、自立に向けた覚悟を固めながら過ごしてほしいと思います。また、その他の学年の皆さんは、1つずつ学年が進級するわけですが、先輩方の姿を自分に置き換えながら、そして、来年の後輩たちに見られる自分の姿を意識して、生活してほしいです。

今年度は、コロナ禍からの脱却を目指し、「新しい生活様式」が少しずつ、かつての生活に戻りつつあります。この傾向は、次年度につながっていくと思われれます。コロナ禍で学んだことを生かしつつ、生徒の更なる安全安心に向けて、努めていきたいと思ひます。

保護者の皆様には、卒業式、修了式まで無事に終えられるよう、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。また、学校評価に係るアンケートを後日実施する予定ですので、ご意見等がございましたら、ぜひお知らせください。

謹賀新年

